2019年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL56019B01）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ベナン	C103 野菜栽培	20～45歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2020/2 ・2020/3

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

農業・畜産・漁業省

2）配属機関名（日本語）

ケトゥ村落開発支所

3）任地（ プラトー県ケトゥ市 ） JICA事務所の所在地（ コトヌー ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で 約 3.5 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

2016年に受入省庁の再編が始まり、2018年頃から、全国にそれぞれの地域の特長を生かした7つの農業開発区が設置された。本配属先は、その中でパームオイル、食用作物、トウモロコシ、タロイモ等が主要分野とされているベナン南東部のプラトー県を担当する第6農業開発区の管轄の下、市レベル毎に設置された政策実施機関である。地域の農民を対象に、生産力や競争力の向上を目的とした農業技術の普及・指導、研修の実施や各関係者間の調整等を行っている。同任地には社会福祉分野で活動するコミュニティ開発隊員1名も2021年3月まで活動予定。IFADによるPADMAR(野菜栽培支援プロジェクト)が展開されている。

【要請概要】

1）要請理由・背景

同国の総人口の3割強を占める貧困層は主に村落部住民で一次産業に従事しているため、一次産業における生産性の改善、市場へのアクセス強化が課題となっており、政府も政府行動計画(PAG:2016-2021)の中で農業、畜産、水産の開発を重点分野に定めている。その中で同支所には農民に対する支援を行うべく農業普及員が配置されているが、普及員の非効率で過剰な事務作業 、農民の運営能力の低さにより、期待されている成果はあげられていない。また、任地住民の多くは農業(綿花栽培、トウモロコシ、芋等)に従事しているが、小規模で十分な収益を上げている農家は少なく、より安定した収入を得るための支援が必要である。2020年9月まで活動予定の前任者は、市内にある市役所傘下の農業団体と活動を共にし、若手農家の支援に力を入れており引き続き支援の必要性があるため後任要請に至った。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先普及員の指導補助、農作物の安定生産及び収入向上を目的として、以下の活動を行う。

1.農民との関係構築、情報収集、問題点の把握
2.野菜栽培の技術指導、助言、改善策の提案(肥培管理、作物に合わせた誘引や摘心などの栽培管理)
3.病虫害や家畜による食害への効果的な対処方法(伝統的な技術等)についての助言
4.農業団体による講習会の活性化、農民グループの活性化

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務所執務室

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
支所長(男性・40代)
現場を巡回している農業普及員(トウモロコシ4名、キャッサバ3名)

活動対象者:
個別農家(種子、農薬、肥料等を購入する際にグループ化している農家も多い)

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
フランス語	その他	英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[学歴]：（大卒）農学系　備考：活動に必要

[性別]：（　　）　備考：

[経験]：（　　）　備考：

[参考情報]：

・野菜栽培の経験

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候）　気温：（25～35°C位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

住民の足はバイクタクシーであるが、協力隊員は利用できない。任地では現地語であるフォン語・ナゴ語等が話され、電気・水道は、ほぼ毎日、数時間程度、停電・断水する。数日復旧しない時も、まれにある。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.